

スペイン国債の格下げについて

2012年6月15日

6月13日、米国大手格付会社ムーディーズ・インベスターズ・サービス(以下、ムーディーズ)はスペイン国債の格付けをA3(「A-」に相当)から3段階引き下げてBaa3(「BBB-」に相当)とすることを発表しました。なお、格付会社スタンダード&プアーズは同国債の格付けを「BBB+」としています。

《Baa3(「BBB-」相当)へ格下げ》

ムーディーズが格下げした理由は、①スペイン国内銀行の支援のために政府債務が膨張すること、②スペイン政府の資金調達力が低下すること、③景気後退により、財政悪化の継続が懸念されること等を指摘しています。

ムーディーズは、スペイン国債の今後の見通しについても格下げ方向(ネガティブ)で検討しており、3ヶ月以内に追加格下げを行うかどうかの結論を出すとしています。

《ムーディーズのスペイン国債格付推移》

格付	変更時期
Aaa(AAA)	
Aa1(AA+)	▼ 2010/9
Aa2(AA)	▼ 2011/3
Aa3(AA-)	
A1(A+)	▼ 2011/10
A2(A)	
A3(A-)	▼ 2012/2
Baa1(BBB+)	
Baa2(BBB)	
Baa3(BBB-)	▼ 2012/6
Ba1(BB+)以下 (投資適格未滿)	

今回の格下げ

出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

《今後の見通し》

●景気見通し

OECD(経済協力開発機構)は、スペイン経済の成長率を、2012年には▲1.6%、2013年には▲0.8%と景気低迷を予測しています。

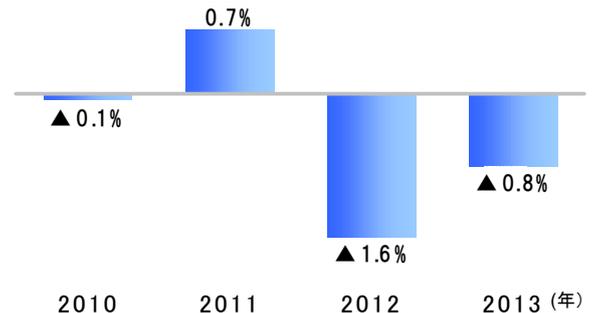
加えてスペインの財政状況は悪化しているため、財政支出による景気浮揚策はあまり期待できない状況にあることも懸念材料となっています。

●スペインへの支援策等について

今回の格下げにより、スペイン10年国債の利回りは直近では7%近辺まで上昇(債券価格は低下)しました。

ユーロ圏財務相会合では、スペインの不良債権問題解決のため、最大1,000億ユーロ(約10兆円)の金融支援を行うことに合意しています。しかし、EUはギリシャ問題等の対応にも追われており、今月実施されるギリシャ再選挙後に欧州内でどのような政治対応がとられるかは不透明な部分があります。EU、スペイン、他の欧州重債務国の状況については引き続き動向を注視する必要があります。

《スペインの実質GDP成長率》



(期間 2010年～2013年 2012年、2013年は予測値)
出所：OECD Economic forecast summary 2012年5月

《スペイン10年国債の利回り推移》



出所：Bloombergより明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。